

第 32 回全日本カバディ選手権大会 開催ガイドライン

一般社団法人 日本カバディ協会

<本ガイドラインについて>

新型コロナウイルスの今後の感染状況によって、本ガイドラインを変更する可能性がある。

<大会会場の入場制限について>

- ・本大会は入場制限を設けない。ただし今後の感染状況によっては、大会出場選手および大会運営関係者と各チームより別途ご提出をいただいた各チームの監督、コーチのみ入場可の開催とする場合もある。
- ・大会出場選手以外の大会運営関係者および各チームの監督、コーチも選手と同様に、所定の体温ならびに健康情報に関する質問に回答する。（※体調管理チェックシート参照）
- ・観覧者は、入場時に検温を行い、受付名簿に名前のある者のみ入場可とする

<大会参加前の準備>

1. 準備期間の設定について
 - ・大会参加に向けて体調管理、怪我の予防など十分な準備を行う。
 - ・大会開催前 7 日間に所定の体温ならびに所定の健康情報に関する質問に回答する。（未回答者には大会主催者側から本人及び代表者に通知し、大会参加を認めない）
2. 大会当日の体調チェックについて

大会当日の体調チェックを必ず実施し（自宅や宿泊施設で出発前に実施）以下の症状がある場合は参加を見合わせる（大会主催者側が出場を認めない場合もある）。

 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳、のどの痛み、倦怠感、息苦しさ
 - ・味覚や嗅覚異常などの体調異常
3. 選手自身が感染または感染者（疑いも含む）と濃厚接触があった場合の対応
 - ・新型コロナウイルス感染した場合、症状がある場合は 10 日間、無症状の場合は 7 日間、感染リスクが残存することから、療養解除前の大会への参加は認めない。
 - ・感染が疑われる者と濃厚接触した場合、以下の条件が大会前に満たされている場合のみ参加が認められる。
 - 感染者または感染が疑われる者と濃厚接触した場合には、最終接触日を 0 日とし、6 日目に参加可能。または、待機期間 2 日目と 3 日目の朝に抗原検査を行い 2 回とも陰性が確認した場合、3 日目に参加可能。
 - *抗原検査は、薬事法承認の抗原定性検査キット（医療用抗原検査キット）を用いる。
 - ・参加可能か迷う場合は自己判断せず、協会に連絡すること。

<大会期間中>

1. 会場入場時の体調チェックについて

会場入口にて体調チェックを実施し、以下の症状がある場合は参加を見合わせる

- ・37.5度を超える発熱
- ・咳、のどの痛み、倦怠感、息苦しさ
- ・味覚や嗅覚異常などの体調異常
- ・設定した入場時間外に来場する選手やスタッフ、観客の体調チェックを行う窓口を設置する（※オリセンに設置済み）
- ・観客については来場時に連絡先記載の同意書に記載して貰う

2. 不織布マスクの着用について

- ・エアロゾル感染対策として、マスクは不織布マスクを推奨する。
- ・試合中の選手以外は、練習・ウォーミングアップ時を含め、会場内ではマスクを着用する。
- ・試合中はマスクを外すことを推奨するが、不安のある選手は着用可とする。但し息苦しさや体調不良が出た場合は、絶対に無理をせずコートから離れ休憩をとる。
- ・忘れた選手は大会本部にて購入をする。

3. 会場内での注意点

- ・こまめに手洗いと手指消毒を行う。
- ・ドアや窓を可能な限り開放し、風通しを確保する。
- ・大きな声での会話、応援等を行わない。
- ・その他、感染防止のために協会や利用施設が決めたガイドライン、指示に従う。

4. 競技中の注意点

- ・選手、監督、コーチ間での握手、ハイタッチ、抱き合う、集まって励まし合う等の行為を行わない。
- ・試合開始時終了時の相手チームや審判との挨拶や握手は行わず主審が結果をコールするのみとする。
- ・ウォーターボトルやタオルなどの個人の備品は共有しない。

5. 開会式・閉会式について

- ・競技上の諸注意等は指定の時間に会場アナウンスにて全体に向けて行う。
- ・閉会式では入賞を会場アナウンスで発表し、代表者のみ大会本部に赴くこととする。
- ・入賞者写真撮影時は、ユニホーム・マスク着用のこと。

6. 掲示物・配布物により感染予防について注意をうながす

<大会終了後>

- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルスを発症した場合は協会 (kabaddifea21@jaka.jp) に対し速やかに報告する。

<その他>

1. 大会参加にあたり、厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ【COCOA】(COVID-19 Contact-Confirming Application)のダウンロードを推奨する。
2. トレーナーブース利用時の注意
 - ・利用時は基本的な感染症対策を実施すること。
(3密の回避、手指消毒の徹底、マスクの着用等)
 - ・大会中の怪我に対する処置、テーピング等緊急性の高い怪我を優先して対応する。
(感染リスクを最小限とするため)
3. 会場からの注意事項
 - ・オリセン入場の際には、検温等が必要。施設の指示に従う。
 - ・ゴミは全て自分で持ち帰る。ゴミ箱は利用しない。
 - ・机、いす等施設内の物は最後に必ずアルコール消毒をする。
 - ・部屋の換気を十分行う。
4. マットについて
 - ・十分な消毒を行って返却すること。
5. 大会主催者の免責事項
 - ・大会主催者は参加選手、チーム関係者、大会運営関係者の感染に対するいかなる責任も負わない。
6. このガイドラインを遵守できる者のみが、今大会に参加ができる。